

小中学校の環境整備について

①小中学校施設整備事業【耐震補強等】

校舎等耐震補強工事は、基本的にすべての学校において平成27年度に工事着手する。

年 度	耐震化率
平成26年度実績	耐震化率 92.0 %
平成27年度見込み	耐震化率98.6 % (校舎は100%)



②小中学校の空調設備の推進

中学校の3年生の普通教室(特別支援教室も含む)、音楽室について年次的に整備を推進。併せて、老朽化している既存設備の更新も行う。

整備スケジュールと概算事業費

工事年度	実 施 校	概算事業費(百万円)
26年度実施済	桜ヶ丘、東	94
27年度実施予定	南、西	145
28~29年度計画	13中学校	219
		合計458

(改築工事での施工を除く)

今後の取り組みと課題

①小中学校施設整備事業

耐震化を優先し先延ばしとなっている老朽改修等について、平成28年度以降の年次計画を策定。

1. トイレ・プール・体育館屋根などの老朽改修
2. 南中校区、修立小などの教室不足対応
3. 福部幼小中一貫校の施設整備

【課題】

1. 「鳥取市公共施設経営方針」に沿うこと。
2. 事業費の平準化と補助金等財源の確保。



②小中学校の空調設備の推進

平成30年度以降の事業実施について、他学年への拡充を検討する。

【課題】

50億円となる事業費と多額のランニングコストを、整備手法を見直すなどで、低減、平準化することが必須である。